



## ☆会長あいさつ☆

10月19日に行われました創立40周年記念式典・文化祭。どの学年もどのクラスも、当日まで頑張って取り組んできた成果が存分に発揮されていて、素晴らしいハーモニーが奏でられ、とても感動しました。放送部の「注文の多い料理店」も楽しかったですし、生徒会の演劇はとても大事なことを教えてもらいました。そして、吹奏楽部による演奏も素晴らしく、とても盛り上がり、会場全体が一体となり感動しました。展示の部でも、様々なアイデアが形となった作品ばかりで、感心いたしました。保護者の方々にも出品をお願いしたところ、多数の作品を展示させていただきました。ご協力、本当にありがとうございました。

11月に入り、これから本格的に寒い季節がやってきます。風邪、インフルエンザが流行ってくると思いますので、体調管理もしっかりと気をつけましょう。

## ☆校長先生のお話☆

先日の全校朝礼で子供たちに話したのですが、私は西落合中学校に赴任して5年になりますが、その間子供たちが体育会においても文化祭においてもしっかりと守り続けてくれたことがあります。それは毎年のように最上級生である3年生が、下級生の手本となって行事に取り組んでくれたことです。3年生が歌う学年合唱には一人ひとりの3年間の中学校生活への思いがたくさん詰まっているようで、直接関わることの少ない私でさえ、目頭が熱くなるものがありました。このよき伝統を来年も再来年も引き継いでいってくれることを願うばかりです。

PTAの方々におかれましては、文化祭当日の受付や特別支援学級の作品販売、パイプ椅子の片づけ等、ご協力いただきありがとうございました。引き続き PTA 活動へのご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## ☆主な行事予定☆



- 11/27(水)～29(金) 期末テスト
- 12/18(水)～23(月) 全学年個別保護者会
- 12/25(水) 終業式

## ☆各学年の様子☆

### 1年生

10月9日に兵庫県立美術館とわくわくオーケストラに行ってきました。本物の芸術に触れ、とても良い経験となりました。音楽コンクールは、どのクラスも、クラスの特徴がよく出た歌を歌えました。11月は進路学習に取り組む予定です。期末考査もあるので、しっかりと学習に取り組めるように頑張りたいと思います。

### 2年生

音楽コンクールでは、2年生らしい力強さを備えた合唱を各クラスともに披露してくれました。文化祭の学年合唱では、見事に一致団結した「時の旅人」を体育館に響かせることができましたと思います。トライやる・ウィークでは、一人一人が地域に出て、社会と触れ合う職業体験になったことと思います。また、各家庭でも様子を聞いていただき、アドバイスをお願いできたら嬉しいです。よろしくお願いします。

### 3年生

音楽コンクール、文化祭ともに39回生としての責任を果たすことができ、保護者の皆さんや地域の方々に感動を与えることができ本当に良かったと思います。このように39回生が成長できたのもひとえに皆様の日頃から温かく応援していただき、支えてくださったおかげだと心より感謝しております。これからは、進路に向けて一人一人頑張っていかなければなりません。今後とも、子供たちにとって良き相談相手として助けていただけたらと思います。

- 【文化部】 ・文化祭では、制服リュースを利用していただきありがとうございました。  
引き続き受付BOXを玄関に設置しております。卒業生の方にもお声がけいただき、ご協力よろしくお願いします。
- 【愛護部】 ・11月15日（金）第2回ふれあい懇話会に愛護委員より2名参加しました。  
・次回のあいさつ運動は、12月2日（月）です。ご協力をよろしくお願いします。
- 【全学年】 ・引き続き花一輪の活動を行っています。
- 【3年生】 ・進路保護者会で卒業記念品代を集めました。たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございました。当日、お忘れの方は担任の先生にお渡してください。
- 【会計】 ・前期の会計監査を10/15（火）に実施しました。

## 校長の独り言

### 「わが家の愛犬」

3年前に家内の強い希望で飼い始めたトイプードル。「より安く」という思いから、インターネットで調べ上げ、売れ残った超安値のトイプードルを豊岡まで車を走らせ購入した。家では比較的小となしい犬ではあるが、散歩に連れていくと恐怖の暴犬に一変。まず、散歩の道すがら同じように散歩中の犬とよく出くわすのだが、全身を震わせ町中に響き渡るような声でその犬に向かって吠えまくるのだ。それだけでは済まない。「かわいいね。」と優しく手を差し伸べてくれる犬好きの人たちにも「ガウッ ガウッ」と今にも噛みつかんばかりに、飛びかかっていこうとするのだ。しっぽを振って、愛嬌を振りまけば頭のひとつも撫でてかわいがってもらえるのにも関わらず、そういった態度に出ることはまずあり得ない。その度に「ごめんなさい！かわいげのない犬で！」と言い放ってその場からリードを引っ張って走り去るのが日常茶飯事という情けなさなのだ。そんなふうであるから、常に周りの状況（散歩中の犬と出くわさないか）を気にしながら散歩しなければならない。前方から犬連れの人々が来ようものなら、急遽進路を変更して曲がり角を曲がるか、回れ右をしてもと来た道に戻るかしなければならない。ところがそれもうまくいかないことがある。右にも左にも曲がるどころがなく、回れ右をすると、気づかぬうちに他の散歩中の犬が接近していることもよくあるのだ。もうそうになったらおしまい。これまた頭を下げ、「ごめんなさい！」と叫びながら、飼い主と犬の前をリードを引っ張りながら走り過ぎるしか方法はないのだ。そんな私を見て、「しつけができていない犬ね。」と言わんばかりに睨みつけてくる飼い主。「たいへんな犬を飼ってるのね。」と言わんばかりに嘲笑してくる飼い主、啞然としながら我々を見送る飼い主等、さまざまである。さまざまではあるが、私の心中はいつも「恥ずかしい。」の一言につきる。

そんな暴犬ではあるが、やっぱりかわいい。昔はかわいいわが子を見て仕事の疲れが癒されたり、心が和んだりしたものだが、成人してしまって親孝行するどころか加齢臭がすると毛嫌いしてくる娘たちよりもよっぽどかわいい存在になってしまった。暴犬にとっての「家族付けランキング」はどうやら私が最下位のようなではあるが、今日も暴犬を散歩に連れていく私である。



思春期に寄り添う 1911

「よい子はつらいよ」

スクールカウンセラー

今月は、兵庫県立やまびこの郷(不登校のお子さんと保護者の方を支援する宿泊型活動施設)が発行している「虹のかけはし」第43号に執筆した内容を元に、「学校適応」について考えたいと思います。

1学期を振り返って、Aさんは担任のX先生から「Aさんはクラスに友だちが多く、授業でも積極的に発言して、クラスの仕事も進んでしてくれているよね。楽しく学校生活を送ってくれていて、先生は安心してよ。この調子で2学期もがんばろうね。」と言われました。それを聞いてAさんは少しうれしそうな表情をしましたが、「でもね、私は先生が思っているほど学校が楽しいわけではないんです。」とぼつりと答えたので、X先生は首をかしげてしまいました。

ここでは、ひとまず『学校適応』を学校の中で活躍できる場を持ち、友人との関係も良好である状態としておきます。この点から見れば、X先生がAさんは『学校適応している』と判断していることに誤りはないと言えます。しかし、Aさんは学校が楽しくないと言っており、自分では学校に『適応しているとは思っていない』ようです。では、一体どちらが本当なのでしょう。

答えとしては、どちらも本当であると言えます。『学校適応』から言えば、Aさんは学習、クラス活動のいずれでも活躍している居場所を持ち、友人との絆も持っているので、学校適応していると判断できます。ところが、Aさん自身はそう感じていませんので、Aさんの学校適応についての感情(学校適応感)はポジティブとは言えないのです。たとえば、Aさんにより子志向が強いとすると、先生、保護者、友人の期待を先取りし、その期待にそった行動をとるので、周囲からはポジティブに評価されますが、常にそうしなければならぬという強迫感でAさんの心はヘトヘトに疲れてしまっているのです。

たとえば、それまで一日も休まず、楽しそうに通学していた子どもが突然学校に来にくくなり、だれも理由がわからず、右往左往することがありますが、実はこの不一致に気づいていなかったことによることが多いと言えます。日々の学校生活の様子から子どもたちの心を理解することは大切ですが、私たちは子どもたちの内面である本音をどれほど聞いてきたのでしょうか。学校適応という外見だけでなく、学校適応感という子どもたちの生(なま)の気持ちを知ることとも周囲の大人にとっても重要であると言えます。



本日以降の本年は、11月21日、12月5日、12日、19日に相談をお受けします。お電話の事前予約は教頭(078-791-8444)に、当日予約はSC(090-8379-3709)に、[メールは事前当日予約ともnishiochiai\\_sc@yahoo.co.jp\(QRコード\)](mailto:nishiochiai_sc@yahoo.co.jp)→)をお願いします。

